

## 観光社会資本の事例

テーマ	シーニックバイウェイ北海道 「支笏洞爺ニセコルート」「大雪・富良野ルート」「東オホーツクシーニックバイウェイ」
-----	--

### 【ルートの状況写真】



羊蹄山(通称:蝦夷富士)に続く国道276号  
(支笏洞爺ニセコルート)



雪景色に伸びる国道237号  
(大雪・富良野ルート)



羅臼岳を臨む国道334号・知床峠  
(東オホーツクシーニックバイウェイ)

### 【施設の利用写真】



雄大な羊蹄山・尻別川・尻別岳の眺望が楽しめる国道276号のビューポイントパーキング  
(支笏洞爺ニセコルート)

### 【観光資源としての利用状況】

支笏洞爺ニセコルート:支笏洞爺国立公園とニセコ積丹小樽国定公園の2つの国立・国定公園を走るルートであり、美しい湖と秀峰、火山に出会える地域として、年間約2,000万人(H16年度)の観光客が来訪しています。

大雪・富良野ルート:大雪山・十勝岳連峰の裾野と山懐を通る大雪・富良野ルートは、パッチワークのように美しい丘陵田園やラベンダーなどの花々に彩られ、映画やドラマ、CMの舞台にもなっており、年間約1,200万人(H16年度)の観光客が来訪しています。

東オホーツクシーニックバイウェイ:知床、阿寒の2つの国立公園を有し、広大な畑地景観、野趣あふれる山岳などがある地域です。また、我が国唯一の流氷地帯であり、人々の心を潤し感動を与えてくれる憧れの地として道内外から年間約610万人(H16年度)の観光客が来訪しています。

テーマ	シーニックバイウェイ北海道 「支笏洞爺ニセコルート」「大雪・富良野ルート」「東オホーツクシーニックバイウェイ」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 国道5号外11路線、道道66号外25路線、外市町村道</p> <p>所在地 北海道</p> <p>事業名 シーニックバイウェイ北海道</p> <p>事業主体 北海道開発局、北海道、関係市町村</p> <p>事業期間 平成15～16年度 モデルルートによる試行 平成17年度～ シーニックバイウェイ北海道の本格実施</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等地域資源を最大限活用し、競争力のある美しく個性的な北海道を実現するため、地域の主体的な取り組みにより、地域資源を保全・改善しつつ、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」を行うものです。</p>	
<p>【位置図】</p> <p>支笏洞爺ニセコルート</p> <p>大雪・富良野ルート</p> <p>東オホーツクシーニックバイウェイ</p>	
<p>【関連ホームページ】 シーニックバイウェイ北海道 <a href="http://www.scenicbyway.jp/index.html">http://www.scenicbyway.jp/index.html</a></p>	